



なかじま

No.159

2026
2月

議会だより

福島県中島村議会



令和7年第4回定例会・行政報告
令和8年第1回臨時会 P2~3

一般質問（4名） P4~P7

- ・トマト農家への支援について 他
- ・農政について 他
- ・通学路の歩道整備について 他
- ・利用停止となった配水場の利用について

議会活動 P8~9

議会の動き・サークル紹介 P10

表紙

東京なかじま会総会
鏡開き



QRコードをスマホなどで読み取り、議会動画がご覧いただけます。

表紙写真を募集しています。
詳細は10ページへ

令和7年第4回議会定例会 村民駐車場舗装整備工事請負 変更契約等を可決

第4回議会定例会は、12月5日から10日までの6日間開催し、条例の改正1件、条例の制定1件、変更契約の締結1件、令和7年度一般会計を含む補正予算に関する議案8件、同意1件の計12議案が村長より提案され、審議の結果原案のとおり可決されました。

また、総務教育常任委員会委員長及び産業建設常任委員会委員長から陳情の採択に伴う意見書の発案案3件が追加提出され、原案のとおり可決されました。

議決された条例

◆職員給与に関する条例の一部を改正する条例
(令和7年人事院及び県人

事委員会勧告を踏まえ、職員の給料表並びに期末勤勉手当支給率を改正)

▶原案どおり可決

◆中島村乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

(子ども子育て支援法等の改正による、子ども誰でも通園制度の実施に伴い、村において基準を定める必要があることから制定)

▶原案どおり可決



その他の議決

◆中島村民駐車場舗装整備工事請負変更契約の締結について

変更後契約額
4,913万4,800円
(残土処分や傾斜角度の変更等による増額)

▶原案どおり可決



1月5日より使用開始された村民駐車

議決された 補正予算

◆令和7年度中島村一般会計補正予算(第4号)

既定予算に5,593万円を増額し、歳入歳出予算総額を42億3,568万3千

円とし、原案どおり可決されました。

歳入の主なもの

国庫支出金 525万1千円、県支出金 163万円、財産収入3千円、寄附金 334万5千円、繰入金 4,570万1千円をそれぞれ増額。

▼障がい給付費に対する負担金やふるさと納税寄附金、令和6年度決算による繰入金、財政調整基金繰入金等

歳出の主なもの

▽総務費1,034万4千円、民生費1,375万8千円、衛生費160万8千円、農林水産業費1,226万円、土木費156万7千円、教育費1,540万2千円をそれぞれ増額。

▼給与改定に伴う人件費の他、障がい給付費、産業振興事業補助金、学校のGIGAネットワーク改善業務委託等

◆令和7年度中島村国民健

康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出

4,728万6千円増額。
・主な理由 前年度決算に伴う繰越金、人件費

▶原案どおり可決

◆令和7年度中島村土地造成事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出

454万8千円増額。
・主な理由 前年度決算に伴う繰越金

▶原案どおり可決

◆令和7年度中島村墓地特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出

18万8千円増額。
・主な理由 前年度決算に伴う繰越金

▶原案どおり可決

◆令和7年度中島村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出

4,379万8千円増額。
・主な理由 各介護サービ

支給付費の増加、高額介護サービス費の増加、人件費

原案どおり可決

◆令和7年度中島村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出

19万9千円増額。

・主な理由 前年度決算に伴う繰越金

原案どおり可決

◆令和7年度中島村簡易水道事業会計補正予算(第3号)

収益的収入57万3千円、収益的支出35万3千円、資本的支出22万の増額。

・主な理由 人件費及び工事費の増額

原案どおり可決

◆令和7年度中島村農業集落排水処理事業会計補正予算(第3号)

収益的収入及び支出24万8千円増額。

・主な理由 人件費等

原案どおり可決

人事案件(敬称略)

◆同意した人事

◇中島村教育委員会委員の任命について

鈴木 由美子(二ツ山)

請願・陳情

◆物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出について

(全日本年金者組合福島県本部 執行委員長 佐藤征司)

◆「最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書」の提出について

(白河地方労働組合総連合議長 近藤芳文)

◆「院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書」の提出について

(白河地方労働組合総連合議長 近藤芳文)

行政報告

総務教育常任委員会に付託された陳情1件、産業建設常任委員会に付託された陳情2件が審査後本会議で採択となりました。

工事等の進捗状況

・農道長寿命化事業
・孫六池、大池の浚渫工事
・二子塚町畑線の歩道工事
・道路維持修繕工事
発注を完了しております。

・両小学校及び中学校体育館のトイレ改修工事

・滑津後山線及び後山日向内線の水道配水管布設工事
着工しております。

・幼稚園園舎LED更新工事
完了しております。



後山日向内線工事の様子

・ふるさと納税は、10月末現在で、寄付額754万5千円と、昨年10月末と比較し約9倍となりました。



の品返納税ふるさと納税のお米が出荷される様子

令和8年

第1回臨時会

令和8年第1回臨時会は1月15日に開催され、村長より条例改正2件、補正予算2件が提案されました。議決結果は次のとおりです。

議決された条例

◇議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

原案どおり可決

議決された補正予算

◇村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
(福島県人事委員会勧告に基づき、議会議員及び村長等の期末手当の支給率を改正するもの)

原案どおり可決

▼令和7年度中島村一般会計補正予算(第5号)

1億1,339万3千円を増額し、予算総額を4億4,907万6千円とした。

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、商品券発行及び人件費)

原案どおり可決

▼令和7年度中島村簡易水道事業会計補正予算(第4号)

予算額の増減はなく、企業債の貸付利率を変更するもの。

原案どおり可決



録画中継はこちら

スマホから
見られます

問

黄化葉巻病に対するトマト農家への支援は？他1問

ふじ た としはる
藤田 利春 議員

答

来期の作付けにかかる防除資材等の購入を補助し、次年度の被害が抑制されるよう、支援していきたい。他1答

問

県南、県中
を問わずタバ

コナジラミ媒介によるトマト黄化葉巻病が蔓延し、前年の収穫量と比較し大幅に減収している状況でございます。栽培農家は危機的状況にあり、石川、白河管内においては前年を100として80%の売上げになっております。

この中島村及び地域全体として大幅な減収になっているのが現状でございますが、中島村産のトマト栽培農家を大切に育て、次の世代にも継承していかねばならないと考えますが資材等の導入のための支援を村としても考えているのか伺います。

答

村 長

トマト黄化葉巻病は、タバココナジラミが媒介するウイルスが原因でハウス栽培トマトの生育に大きな被害をもたらすものであります。全国でも広範囲にわたっており、福島県においても昨年から発生が顕著となり、本年は郡山市周辺や中島村、矢吹町、白河市の被害が特に多くなっております。病原の媒体となるタバココナジラミは全長が0・8ミリから1ミリと大変小さく、繁殖力も強いいため、その防除には多くの対策が必要となります。

トマト農家の支援策についての質問であります。本村を含む白河管内の市町村にて対応を検討し、JAからの支援要望も踏まえ、来期の作付けにかかる防

除資材等の購入に対し補助を実施したく、今回、12月補正予算において所要額を計上したところであります。具体的な内容については、耐病性苗を含む防除資材の購入費の3分の1、10アール当たり20万円を上限としたものであり、次年度の被害が抑制されるよう支援していきたいと考えております。

問

国、県の指導
の下、農協が

引き受け福島型のトレーニングファーム事業が実施されていきます。新規就農者を育成し、農家で2年間就農勉強をされる事業で、受入れ農家に対し、少なからず助成が必要と考えるが、村としての対応を伺います。

答

村 長

トレーニングファームとは、JAが新規就農者の確保を目的に取り組む事業であり、就農希望者が受入れ農家の下で2年間研修し、技術を習得しながら地域に定着する農家となるよう育成する事業です。JA夢みなみ管内でも来年4月頃から研修生の申込みが開始され、本村でもトマト農家での受入れが行われるようであります。

受入れ農家への助成については、JAからは謝礼金が支払われると伺っています。また、施設等の整備等に対し、JAを窓口とした県の補助事業を活用することも可能であります。

村としては、どのような支援が必要か検討していきたいと考えております。



ハウス栽培されるトマト



録画中継はこちら

スマホから
見られます

問 地域計画策定後の進捗状況は？

他4問

いいな
椎名 やすお
康夫 議員

答 昨年7月の地区座談会後、12月に最終的な説明会を行い、所定の手続きを経て策定が完了し、本年度より計画を開始した。他4答

地域計画の策定に当たっては、昨年7月の地区座談会において、農地所有者や耕作者への意向調査を基に作成した目標地図を閲覧いただき、併せて計画の方向性などを示しました。続いて12月には、最終的な説明会を行い、所定の手続きを経て策定が完了し、本年度より計画を開始したところであります。

ご質問の地域計画の進捗状況であります。

答
村長

問 令和5年4月1日、人・農地プランが法定化され、令和7年3月までに各地区において地域計画を策定することが定められました。それについて、現在の進捗状況などについてお聞きしたいと思ひます。

今年度新たに予算計上した中島村農業機械等導入事業補助金は、認定農業者等に限らず幅広い経営規模の農家が利用できる制度であり、農業経営の支援として多くの農家に活用いただいております。また、耕作者の確保に向けた施策としては、耕作放棄地や離農予定地を中心に貸借等希望農地の情報提供に向けた準備などを進めており、今後、貸借等希望農地をホームページ等に公開し、会社等の法人を含め、意欲のある方々の営農につなげたいと考えております。



地区座談会の様子

現在の村内の圃場整備の状況であります。が、農業構造改善事業や、経営圃場整備事業等、各種事業により滑津地区では田の9割、畑の4割、吉子川地区では田の9割、畑の5割程度が整備されております。村の農業生産基盤の整備に関する方針としましては、令和2年に改定した中島村農業振興地域整備計画に基づき、水源確保に係る、ため池整備や施設の長寿命化等対策を主体として進めております。大規模区画の基盤整備については、現

答
村長

問 将来の農業を考えたときには、水田などの大規模な基盤整備が必要と思われませんが、村はどのように考えているのでしょうか。

問 村内道路交通差点等に設置した標識等の維持管理並びに更新はどのような基準で行っているのでしょうか、お聞きします。

答
村長

規制等の標識につきましては、公安委員会や県や村などの道路管理者が道路交通法に基づき設置しており、設置者それぞれがパトロール等にて定期的な点検整備を実施しております。

次に、村交通安全協会等が設置している注意標識につきましては、このほか、トマト農家後継者育成について、村第一工業団地内の道路について質問がありました。



村交通安全協会が設置した看板

交通安全協会等の巡回パトロール、村交通担当等による確認のほか、地域住民からの連絡を通じて、協会等が修繕更新を行っております。村としても引き続き、ほかの標識設置者と連携しながら、標識等の維持管理、更新を適切に実施してまいりたいと思ひます。



録画中継はこちら

スマホから
見られます

問

原山(まんまん坂)地区の歩道整備等
が進んでいるが、今後の計画は？他2問

答

国の社会資本整備総合交付金を活用し、令和8年度
に歩道設置事業が完了できるよう要望している。他2答こむろ しげかつ
小室 重克 議員

歩道設置予定のまんまん坂

問

通学路の歩
道整備について、原山、まんま
坂地区の歩道整備が
進んでおりますが、
今後の計画について
村長にお伺いいたし
ます。

答

村長

村道滑津川原田線、
通称まんまん坂の整備
については、令和7年
8月に用地取得に伴う
所有権移転登記が完了
したところです。今後
については、国の社会
資本整備総合交付金を
活用し、令和8年度に
歩道設置事業が完了で
きるよう要望しており
ます。

問

中島中学校
の歩道整備が望まれておりますが、
中学校前の歩道整備
計画についてお伺い
いたします。

答

村長

現在、村道二子塚町
畑線の歩道整備事業が
年度内に完了を見込め
る状況にあります。ま
た、令和8年度からは、
原山地区の歩道設置事
業や、吉子川小学校前
の歩道整備を計画して
いるところです。その
ようなことから、これ
らの歩道整備が完了し
た後に、中学校前の歩
道整備に着手できるよ
う事業推進してまいり
ます。

問

中島村では
中学校3年生
のマレーシア修学旅
行や、中学生、小学
6年生にブリティッ

ク

答

村長

シユヒルズ英語研修、
それから英語検定費
用等の助成、幼稚園
児のキッズ英会話を
提案実施してきまし
た。英語力のある村
職員を採用し、時代
に即した国際感覚を
推進する、魅力ある
村づくりを目指す予
定はあるかどうか、
お聞きします。村では、幼稚園から
中学校まで国際感覚
を養うことを目的に、
様々な施策を行ってお
ります。これは、幼
少期から外国の方と接
して英語力を高めるこ
とで、何事にも臆せず、
村内、国内はもとより、
海外にも積極的に挑戦
する力を身につける人
材育成事業の一環であ
ります。
村職員の中に、語学
力の堪能な方がいれば

問

イベントの
際の送迎バス等の運行について、
村主催のスポーツ
フェスティバル、文
化祭、文化講演会等
のイベントに参加し
たい高齢者がありま
すが、村による高齢
者送迎の運行をする
考えはございますか。

答

村長

現在、村主催の事業
で送迎を実施している村としても力強いこと
であります。まずは
職員として行政事務を
遂行できることが基本
でありますので、採用
に当たっては、職員と
しての適性を第一に考
えているところであり
ます。その上で、語学
力など様々な分野で知
識を磨かれてきた方を
職員として採用し、時
代に即した国際感覚を
推進してまいります。のは敬老会のみであり
ます。これは、対象者
が高齢者であることか
ら、出欠と併せ、送迎
希望の有無及び乗降場
所を確認し、大型免許
を持つ村職員と社会福
祉協議会の協力を得て
行っておりますが、敬
老会の出席者が減って
きたこともあり、バス
を利用する方が年々減
ってきている状況であ
ります。その他のイベントに
ついては、多くの方に
参加いただけるよう、
主に土日や祝日に合わ
せ実施しており、これ
まで送迎の検討はして
おりませんでした。今
後、送迎を希望する方
に対し、どのような形
で支援することができ
るかどうかなどを含め、
関係機関と連携し検討
していきたいと考えて
おります。

一般質問



問

利用停止となった旧岡ノ内配水場について、どのように考えているのか？

答

現時点で具体的な検討を行っていない。約50年を経過していることも踏まえながら、今後の利用方法等について調査検討したい。

こばやし ひとし
小林 均 議員

問

滑津小学校の下にあります、利用停止となった元岡ノ内配水場の施設の再利用について質問いたします。

この配水場については、現在は物置状態になっているように見えるのですけれども、現在の状況をお示しいただきたいと思えます。また、今後はこの施設をどのようにしていくのかをお尋ねいたします。

答 村長

岡ノ内前の配水場は、昭和48年度から着手した農村総合整備モデル事業において整備した水道施設であります。平成2年度からの簡易水道事業の第2次拡張工事により、吉岡地内に配水場を新設したことに伴い、その役目を

問

今のところ再利用について考えていないというふうなことです

が、確かにもう利用されていない状況になってから35年経過

終えたところでありま
す。現在、機械室につ
いては道路作業に使用
する機械などの保管場
所として、場内の空
きスペースについては、
側溝の蓋など資材の保
管場所として利用して
いるところであります。
今後どのように考え
ているのかのご質問で
あります。施設の再利
用及び土地利用などに
ついては、現時点では
具体的な検討を行って
いない状況にあります。
約50年を経過している
ことも踏まえながら、
今後の利用方法等につ
いて調査検討してまい
りますのでご理解をお
願いたします。

答 村長

建物の耐用年数は、
大体コンクリート類だ
と50年と言われており
ます。ですから、丈夫
であってもそれを施設
として使用する上では、
また補強等が必要な
かなと考えております。

それも含めまして、現
在はいろいろと資材等
を置かせていただいて
おりますけれども、東
日本大震災の後、洪水
等が発生したときに、
土のう等の蓄積場所と
しても有効活用させて

いただいております。
そういった面で水道
施設としては使ってお
りませんが、資材等の
置き場ということで利
用させていただいてお
ります。



現在の旧岡ノ内配水場

議会活動

長野県栄村 「実践的住民自治の 村づくり」の視察

10月27日長野県栄村を視察しました。

栄村では、農家が自ら田んぼを使いやすいように村職員と話し合い、村が直営で区画整理を行う田直し事業、道路の線形、土地交渉などを地区の中で調整した後に要望を提出し、施工方法等の協議に村民が主体的に参加する仕組みの道直し事業を実施しています。

また、栄村が豪雪地帯であることから、村のヘルパー養成講習等で資格を取得した住民ヘルパーが24時間体制で駆け付けけたばきヘルパー制度を実施していましたが、現在は、居宅サービスから施設サービスへのニーズが高まり、げたばきヘルパー制度を活用せずともサービス提供は充実しているとのことでした。

住民のニーズが多様化し、地域の置かれる状況が複雑化している今、住民発意の、住民主導による、住民のための事業を行っている栄村の視察を通して、今後の中島村における地域に根差した行政への住民の参加について取り組みたいと思います。



長野県南箕輪村 「人口が増え続ける 謎の村」の視察

10月28日長野県南箕輪村を視察しました。

南箕輪村は、村が誕生して以来一貫して人口が増加

しており、高齢化率は23・9%、年少人口比率は15・4%、生産年齢人口比率60・7%となっています。長野県全体で人口が減少するなか、長野県内で南箕輪村だけが2020年よりも2050年の人口が増えるという予測されています。

「日本一の子育ての村」を目指し子育て支援に力を入れている南箕輪村の視察を今後の子育て支援の参考とし、本村の発展のため活かしていきます。



ふくしま駅伝出場 選手へ激励金交付

11月4日生涯学習センター輝ら里において、ふくしま駅伝選手壮行会が行われ、小松公雄副議長より激励金が交付されました。



令和7年度定期監査 を実施

11月20日～21日に令和7年度の定期監査が実施されました。定期監査の講評は11月28日に行われました。



代畑水管橋下部工の現地を確認

東京なかじま会総会 に参加

1月25日に渋谷で開催された第33回東京なかじま会総会に議員一同で参加しました。総会では中島村産の米で作られた日本酒「熟酔」を使用した鏡開きが行われ、参加者にふるまわれました。

このほか、結いの会による中島村産品の販売も行われ、椎茸や餅などが並びました。



山形県金山町議会の 視察研修を受入

11月28日に山形県金山町議会の議会運営委員会、議会活性化・DX推進特別委員会が来村し、議員定数及び議員報酬について研修を実施しました。

研修では、中島村が過去に議員定数削減を行った経緯やそのメリット・デメリット等について質問があり、本村議員との活発な議論がなされました。



▼中島村では平成19年に議員定数を12名から8名に削減

この時期は特に景気の低迷が深刻で、村の財政も厳

しく、三位一体の改革により、市町村合併の推進や行政組織のスリム化が求められていましたので、平成14年4月1日から平成27年3月31日まで議員報酬の5%を減額していました。

この様な状況下において、平成19年に、議員が率先して行政改革を推し進めるため、自主的に議員削減をしました。

検討した当時は福島県内で議員定数8名の市町村はありませんでしたので、かなり大幅な削減でした。

主な質疑

議員のなり手不足や多様性に関して、どのような協議や参画を進めてきたのか

議会に欠席できる事由は「事故」のみでしたが、なり手不足の解消と、多様な層の住民が議員に立候補し、男女の議員が活躍できる環境の整備として、令和3年

に会議規則を改正し、「公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他やむを得ない事由」となりました。

また、出産予定日の6週間前から出産後8週間の産休を取得できるようになっています。

議員定数削減は議員活動の実働時間が増えたのか

以前より重複して委員会に所属している状況ですが、むしろ多方面で学ぶことができるため、より活発な活動ができています。

定数削減や議員報酬増に対して、議員のモチベーションや活動範囲への影響は

中島村で定数削減をした平成19年当時、深刻な景気の低迷から報酬の5%を削減中のため、村の財政への一助を望み定数削減しましたので、報酬額の金額で議員のモチベーションや活動

範囲が左右されるようなことはありませんでした。

議員活動を見える化するうえで、議会活動と議員活動の周知方法は

議会だよりを年4回発行し、中島村のホームページで会議録検索システムと議会録画中継を公開しています。

定例会、臨時会の当日は、庁内の来庁者と職員へ庁内ライブ配信と、職員へ音声のみの配信を行っています。また、議会だよりとホームページで議会傍聴の案内を行っています。



動画を見たい方はこちら
※ライブ配信はしていません。



録画中継

議会って何をしているの…



そんな時は!

文字で読みたい方はこちら



会議録検索システム

みんなが 主役

第1回

サークル紹介

団体の名称

けーけーびー

KKB67

K：川原田の K：かわいい B：ばあちゃんの略。
67は結成時のメンバーの平均年齢

- ・結成して10年、8人で活動中の踊りのグループ
- ・活動拠点：川原田ふれあいセンター

毎月第3木曜日午前10時30分から定例会があります。

代表 芳賀幸子さん

「KKB67は地区の夏まつりや、村福祉まつり、芸能発表会などで踊りを披露していますが、施設等の慰問も行ってきました。10年の節目なので記念イベントなどが出来ればと夢を持っています。“喜んで生きる”“笑顔が一番”をグループのモットーとして、元気で活動が続けていきます。」

(取材：椎名、小林)



県高齢者芸能発表会に中島村代表として参加! (令和元年11月)

議会のうごき

11月	2日	なかじま輝ら×2秋まつり
	4日	ふくしま駅伝競走大会中島村チーム選手壮行会
	12日	町村議会議長全国大会
	16日	ふくしま駅伝競走大会
	19日	行政視察事前打ち合わせ
	20日	定期監査(～21日)
	23日	芸能発表会
	25日	国際交流協会視察研修
	26日	例月出納検査
	28日	山形県金山町視察研修
12月	28日	議会運営委員会
	28日	定期監査講評
	29日	こどもの国の発表会
	5日	令和7年第4回定例会(～10日)
	6日	クリスマス発表会(保育所)
	7日	新蕎麦を味わう会
	25日	例月出納検査
	7日	市町村長・市町村議会議長合同新年会
	10日	二十歳を祝う会
	11日	消防団出初式、安全祈願祭、表彰式・新春賀詞交歓会
1月	13日	広報編集委員会
	15日	令和8年第1回臨時会
	16日	新年会員の集い
	23日	例月出納検査
	25日	東京なかじま会総会
2月	12日	天皇誕生日レセプション(マレーシア・コタキナバル)
	14日	文化講演会

編集後記

21世紀となつて四半世紀が経過しましたが、世界又は日本を取巻く環境を皆さんどう思いますか。20世紀時代の皆さんは、科学技術が進んだ素晴らしい21世紀の未来を想像していたかも知れませんが、平和な世界を予想していたかも知れません。でも、どうでしょう。21世紀になつてから紛争が絶え間なくやって来ています。毎年紛争のない世界を望んでいます。災害も同じです。紛争や災害のない世界になる様にお金をかけて貰いたいものですね。戦争にお金をかけるなら、この異常気象や災害にお金をかけて欲しいものです。そう云う世の中になつて貰いたい希望を念じながら今年も平穏無事に過ごしたいものです。

(小林)



表紙写真を募集します!

■募集写真

中島村内で撮影されたカラー写真(データ)

■応募資格

中島村内在住・在勤・在学の方

■応募方法

氏名、住所、電話番号、写真のタイトル、撮影場所、撮影日時を記載し、議会事務局へ電子メールまたは直接電子データをお持ちください。

■締切日

令和8年3月27日(金)(5月号)

■選考方法

編集委員会で選考の上、採用写真を決定します。採用された方に粗品を差し上げます。

発行

中島村議会

〒961-0192 福島県西白河郡中島村大字滑津字中島西11-1

電話 0248-52-3486

議会だよりへのご意見をお寄せください。

FAX 0248-52-2449

メール gikai@vill-nakajima.jp

(議会事務局宛)

